

# 2022年度第1回町田市立国際版画美術館運営協議会議事要旨

■日 時：2022年9月30日（金） 午後2時

■会 場：町田市立国際版画美術館 講堂

■内 容：

## 1. 報告事項

- (1) 2021年度の美術館評価について …… (資料1)
- (2) 2021年度後半から2022年度前半の美術資料の収集状況について …… (資料2)
- (3) 2022年度前半期の事業の振り返りと総括について
  - 展覧会事業
    - 「吉例浮世絵大公開！江戸の滑稽－幕末風刺画と大津絵－  
田河水泡コレクションを中心に」 …… (資料3)
    - 「彫刻刀が刻む戦後日本－2つの民衆版画運動」 …… (資料4)
    - 「文明開化の子どもたち  
Les enfants de l'ère Meiji – A l'école de la modernité (1868-1912)」 …… (資料5)
  - 版画講座等普及事業 …… (資料6)

## 2. 審議事項

- (1) 2023年度事業（案）について
  - 展覧会予定 …… (資料7)
  - 普及事業予定 …… (資料8)

## 3. その他

- (1) 仮処分申し立てについて
- (2) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム  
「(仮称)公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟」基本計画について …… (追加資料)
- (3) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの運営体制について

■出席委員：磯見 輝夫                      三上 豊  
                  岩崎 直美                      高橋 健志  
                  三竹 和行

( 敬称 略 )

■出席者：大久保館長  
                  星野副館長      滝沢担当課長 (学芸係)  
                  和南城担当係長 (学芸係)      渡邊係長 (普及係)  
                  安田係長 (管理係)  
                  鈴木 (管理係・書記)

### ■会議録 (要約)

○開会の宣言 (国際版画美術館副館長)

○館長挨拶 (国際版画美術館館長)

○委員紹介

○美術館職員紹介

#### 1. 報告事項

(1) 2021年度の美術館評価について

○資料1について事務局から説明

○委員からのご意見、ご質問等

委員

飯田善國の噴水彫刻の管理は美術館が行っているのか。

事務局

彫刻としての管理は美術館、噴水のコントロールや水の消毒は公園が行っている。

(2) 2021年度後半から2022年度前半の美術資料の収集状況について

○資料2について事務局から説明

○委員からのご意見、ご質問等

なし

(3) 2022年度前半期の事業の振り返りと総括について

○資料3、4、5、6について事務局から説明

○委員からのご意見、ご質問等

委員

普及事業の報告に長谷川潔展があるが、展覧会事業では後半の報告になるのか。

事務局

次回の報告となる。

委員

「彫刻刀が刻む戦後日本」展はかなり画期的で美術界でもかなり評判だった。教育版画運動が版画美術館ならではの空間で展示されたのが非常に面白い。市民ギャラリーなど貸しスペースで展示されることが多い小中学校の作品展を版画美術館はずっと企画展示室で行ってきた。それが今回の展示に繋がっている気がして、版画美術館ならではの展示だという気がした。この展覧会はハイライトになったと思う。

「文明開化の子どもたち」展は2017年の企画展を再構成したもの。過去に行われた展覧会の蓄積を活用していくことはすごく重要だと思う。実績というのはその展覧会だけではなく、過去が継続して繋がっていることだと思う。

委員

数年前は来館者が増えないと言っていたが今回の資料は明るい。SNSや展示の解説など、小さな努力が来館者に良い印象を与えていると思った。独特な美術館なので、専門的なことも重要。町田市立美術館としての役割も広報も価値があってすごく良いと思った。

委員

「彫刻刀が刻む戦後日本」展にすごく感銘を受けた。美術館は名作を展示するだけではなく、社会運動など版画の制作に染みついたものを紹介するのが良い。教育に結びついた作品の展覧会を一回で終わらせず、何年かに一度は必ず継続する姿勢を持ってほしい。美術教育は衰退している気がする。もう一度復活するような動きが出れば良いと思った。

委員

教育に結び付けた展覧会がこれからも行われると良いと思う。また、SNSの効果は大きいと感じた。行きたいと思われる情報発信をこれからも期待したい。

委員

パリの展示は、版画美術館が企画してパリで展示したのか。

事務局

お見込みのとおり。先日25日に終了したが、常設展示室ではパリでの「文明開化の子

どもたち」展の縮小版を開催していた。

委員

小教研を開催している。忙しく難しいだろうが、中教研でも何かできると良いと思った。

委員

「文明開化の子どもたち」展について、パリの人の反応はあるのか。

事務局

小学生の団体鑑賞が複数回実施され、日本とフランスの文化を比較しながら楽しむ子どもたちの姿が見られたとか、講演会は事前申し込みの時点で満席となり、積極的に質疑応答もされた、過去文化大臣・国民大臣を務めた方が来場したなど、非常に良かったという報告を受けている。

## 2. 審議事項

### (1) 2023年度事業（案）について

○資料7及び8について事務局から説明。原案のとおり承認された

○委員からのご意見、ご質問等

委員

どの企画展でカタログを作るのか。

事務局

3月から5月の「自然と書物」展、10月から12月の「楊洲周延」展、2024年3月から5月の「版画の青春」展の3つで作る。

委員

楊洲周延の名前が昔読めなかった。名字は橋本ではなく楊洲のほうがしっくりくるということか。

事務局

正しくは楊洲周延。橋本は生まれた家の名字。芸名と本名を組み合わせるようなもので、今はあまり好まれない。安藤広重が歌川広重に変わったのと同じ。

委員

館長のご専門ということで、期待している。

事務局

浮世絵も明治にシフトしてきている。そういう背景も踏まえて、まとめて展覧会で紹介

したいと考えている。

委員

版画美術館にはコレクションが結構あるのか。

事務局

それなりのコレクションがある。

委員

子ども講座がゴールデンウィークや夏休みに集中しているが、1年間、半年間、月1回、週1回など、長期間行うのは難しいか。

事務局

習い事や学校行事で子どもが忙しいため、集まることが難しい。長期間行うよりは、好きな時に参加できる形にして、参加の機会を増やす方向性が良いかと思う。

委員

心変わりもあるし、それが良いと思う。

### 3. その他

#### (1) 仮処分申し立てについて

○仮称国際工芸美術館を国際版画美術館に連結する工事計画について禁止を求める仮処分申し立てについて、7月19日に審尋が終了、裁判所からの決定は現時点で出ていないことを、事務局から口頭で説明

#### (2) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム基本計画について

○追加資料について事務局から説明

#### (3) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム運営体制について

○パークミュージアム事業については、工芸美術館、版画美術館、公園等が一体的に運営することで、これまでにない発想で新たな価値を生み出すことを目指し、ノウハウを持った民間事業者と連携した運営体制を検討しており、学芸員と民間事業者それぞれが担う業務について整理を行っていることを、事務局から口頭で説明

○委員からのご意見、ご質問等

委員

官民共同になると、「町田市立」が付く美術館ではなくなるのか。

事務局

町田市の学芸員はいるが、指定管理かは未定。名称も未定。

委員

全く別の名前になるということは。

事務局

そういうことはない。

事務局

工芸美術館も「仮称」である。名称については今後整理していく。

委員

工芸美術館と版画美術館が一緒になるということか。

事務局

建物は2つだが組織がひとつになり、それぞれ独立性を持った活動を展開していく。

委員

仮処分について、もし町田市が負けた場合の次の一手など考えているか。

事務局

仮処分については法制課、弁護士が対応している。以前は国際版画美術館の副館長が指定代理人だったが、現在は指定代理人ではなく、現時点では決定がまだ出ていないという情報しかない。

○閉会の宣言（会長）

—以上—